

平成27年度
全九州学生ダートトライアル大会
特別規則書

主催

全日本学生自動車連盟九州支部

本競技会は交通法規の遵守と安全運転を基本理念として、遵法精神および交通徳の育成、安全運転の習得、そして加盟校相互の親睦を目的として開催されるもので、事故はもちろんいかなる規則違反も絶対に許されない。

第1条：競技会と規則について

第1項：競技会と規則の位置づけ

本競技会は社団法人日本自動車連盟（JAF）の承認のもとに、FIAの国際スポーツ法典ならびにそれに準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技則、および本特別規則書により、クローズド競技として開催される。

また、本競技会は全九州学生チャンピオンシリーズ規則書および全九州大学対抗チャンピオンシリーズ規則書の内容に基づいて開催される。

なお、本特別規則書に記載されていない競技運営上の細則および参加者に対する指示事項は、公式通知によって示される。

第2項：規則の違反

本規則に対する違反の処罰宣告は大会審査委員会が行い、訓戒・罰金・タイムの加算・失格などがその違反の軽重に応じて適用される。タイムの加算は順位判定のタイムに5秒以上が加算される

第3項：規則の解釈

本規則及び大会の競技に関する諸規則や公式通知の解釈についての懷疑は、大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

第2条：競技会の概要

第1項：競技会の名称

平成27年度 全九州学生ダートトライアル大会

第2項：競技種目

ダートトライアル（スラローム第2種）

第3項：主催者

全日本学生自動車連盟九州支部

第4項：開催期日

平成27年5月3日（日）

第5項：開催場所

SPEED PARK 恋の浦

福岡県福津市渡 641 恋の浦ガーデン内

第6項：大会事務局

〒819-0375 福岡県福岡市西区徳永 789 番地 7-701

山田 拓也

TEL：080-1469-6011

E-mail：yamada@ajsaa-kyushu.org

第3条：競技大会役員

第1項 大会役員構成

大会会長 柴田 千代治（全日本学生自動車連盟九州支部支部長代行）

審査委員長 上田 克行（全日本学生自動車連盟九州支部理事）

組織委員長 山田 拓也（九州大学自動車部）

競技長 山田 拓也（九州大学自動車部）

コース委員長 伊藤 慶（九州大学自動車部）

計時委員長 近藤 員章（九州工業大学自動車部）

技術委員長 服部 航（九州大学自動車部）

救急委員長 今門 利和（九州工業大学自動車部）

事務局長 山田 拓也（九州大学自動車部）

第2項 権限

1. 大会会長は、大会に関する一切の責任と権限を有する。また、必要に応じて顧問を委任することができる。
2. 組織委員長は、運営に関するすべての責任を負い最終権限を有する。
3. 競技長は、競技に関するすべての責任を負い最終権限を有する。

第4条：参加受付及び参加料

第1項 参加受付期間

平成27年4月23日（木）必着

やむなく遅れる場合は、その理由を事前に大会事務局まで伝えること。

ただし、当支部が原因による場合または止むを得ない場合を除き、ペナルティを課す、参加を認めないといった処置をとるので、締切りは厳守すること。

なお、参加申込書の提出に際しては、普通郵便又は速達を使用すること。

第2項 参加申込受理・参加拒否

1. オーガナイザーは参加申し込みに対し理由を示すことなくその受理を拒否する権利を有する。この場合、事務手数料1000円を差し引き参加費を返却する。
2. 参加受領後、参加費は一切返還しない。但し、競技会の中止及び延期の際についてはこの限りではない。
3. 参加受理書は発行しない。

第3項：参加申込み場所

大会事務局と同一とする。

〒819-0375 福岡県福岡市西区徳永 789 番地 7-701

山田 拓也

TEL：080-1469-6011

E-mail：yamada@ajsaa-kyushu.org

第4項 参加申込提出書類及び提出物

参加申し込みは、以下に掲げる書類を主催者へ郵送、あるいは持参すること、及び参加費の支払いによって行う。

1. 参加申込書
2. 車両申告書
3. 誓約書
4. オフィシャル登録用紙
5. 団体戦に関する嘆願書（SC 車両で参加の場合は必要なし）
6. スポーツ傷害保険の証書(JMRC 共済に準ずるもの)のコピー（当日、JMRC 九州共済会への入会希望の者は『JMRC 共済会（特別会員）入会申込書』の上部半分）

第5項 参加料

団体 1 チーム 24,000 円

個人 1 人 8,000 円

本競技会において参加費は、期日までに下記口座に振り込まねばならない。この際、振込名義を個人名ではなく、大学名とすること。

福岡銀行戸畑支店 店番4 1 7 口座番号2 1 4 8 5 3 1

全日本学生自動車連盟 九州支部

期日：平成26年4月23日（木）

ただし、オープンクラス及びシニアクラスに参加のOB等の一般の選手は参加費を振り込まずに、大会当日に受付にて参加費を支払うものとする。

第5条：競技クラス区分

第1項 団体戦の部

参加車両：SC 車両又はB 車両

ただし、B 車両で団体戦に参加する場合は SC 車両で参加することができない明確な理由を団体戦に関する嘆願書にて明示すること。この場合、代表選手各々が別々の車両で参加しても、3人で1台を共有して乗っても構わない。

参加者：団体（1チーム3人）

参加要件：参加者は2012年4月1日以降に入学した学部生のみとする。
また、同一大学が複数のチームをエントリーすることは可能だが、その場合表彰対象となり得るのは上位の1チームのみとする。

第2項 個人の部

参加車両：B 車両（ただし、オープン、シニアクラスのみ SC 車両も認める）

クラス区分：B1クラス(学部生 2 輪駆動車 1586cc 以下)

B2クラス（学部生 2 輪駆動車 1586cc を超えるもの）

M2クラス（大学院生 2 輪駆動車）

4WD クラス（学部生・大学院生 4 輪駆動車）

オープンクラス(初心者、各大学自動車部 OB 等 駆動区分なし)

シニアクラス（学生以外の希望者 駆動区分なし）

在学5年以上の学部生が二輪駆動車で個人の部に参加する場合は、M2クラスへの参加とする。

学生以外の参加者は、希望すればシニアクラスで参加することが出来る。

第6条：参加人員について

第1項 参加資格及び人員

1. 本競技会の参加者は、本連盟登録部員であること。ただしオープンクラス、シニアクラスについてはこの限りではない。
2. 競技会開催日において免許取得後、6ヶ月以上経過していること。ただしオープンクラス、シニアクラスについてはこの限りではない。
3. 競技会開催日からさかのぼって1年以内に刑事事件及び1万円以上の罰金（反則金を含まず）、または1日以上免許停止処分を受けた交通違反（事故を含む）を犯していないこと。
4. 団体の部の参加人数は、1チーム3名とする。やむをえない理由で、代理の選手が出走する場合は主催者にその旨を申告し、書類を提出すること。
5. 団体の部に参加する者は、JAF 発給の許可証を必要とする。

6. 競技運転者は、スポーツ傷害保険に加入していなければならない。参加申し込みの際に、加入を証明する書類を提出すること。証明が成されていない場合は出走を認めない。なお、全日本学生自動車連盟は **JMRC** の共済を推奨する。競技会当日に **JMRC** 九州共済会（特別会員）への入会を希望する者に関しては入会金（¥1,000 円）をエントリー費とは別に所定の口座に振り込むこと。

第2項 参加者の遵守事項

1. 国際スポーツ法典ならびに国内競技規則、同付則及び大会特別規則、競技運営上のあらゆる規定競技役員の指示に従うものとする。これらに違反するものはすべてのスポーツ委員会に定義され、資格停止処分以上の罰則が適用されることがある。
2. すべての参加者は常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動し言動を慎むものとする。
3. 競技中又は競技に関する業務に就いているときは、薬品などによって精神状態を繕ったり、飲酒したりしてはならない。

第3項 参加制限

1. 同一運転者は 1 つのクラスにしか参加できない。
2. 同一車両による複数人によるエントリーは許される。
3. 団体戦のダブルエントリーも認められるが、全日本学生大会ではダブルエントリーは認められない。

第4項 安全装備

参加者には以下の安全装備の着用を義務付ける。なお、以下の装備は公式車両検査で確認を行う。

1. ヘルメット

JIS 規格または **SNELL** 規格に適合していること。

製造後 10 年以内のものとする。

2. 服装

レーシングスーツを推奨する。

用意できない場合に限り、つなぎもしくは長袖長ズボンを着用すること。

3. グローブ

レーシンググローブ等肌が露出しないものを着用すること。

ただし、軍手等は禁止とする。

4. 靴

レーシングシューズを推奨する。サンダル等の着用は認めない。

第7条：参加車両について

第1項 参加車両

1. 全ての参加車両は JAF 国内競技車両規則に従うこと。
2. クラス毎の車両区分に関しては以下を参照し、内容に従うこと。
 - ・団体戦の部
当該年度の JAF 国内競技車両規則の第3編スピード車両規定のスピード SC 車両規定
ただし、SC 車両を準備できない場合に限り、当該年度の JAF 国内競技車両規則の第3編スピード車両規定のスピード B 車両規定
 - ・個人の部
当該年度の JAF 国内競技車両規則の第3編スピード車両規定のスピード B 車両規定
3. 以下に適合するロールケージを装着すること。
 - ・B 車両
6点式以上のロールケージの装着を必須とし、運転席側ドアバーを含めた7点式以上のロールケージを強く推奨する。
 - ・SC 車両
6点式ロールバーに運転席側ドアバーおよび斜交バーを追加した、8点式以上のロールケージの装着を必須とする。
4. オープンカーでの参加は認められない。
5. 団体戦に関しては、以下の規定を満たすこと。
車両の気筒容積は改造による変更の有無にかかわらず、2500cc を含み2500cc までとし、駆動方式は2輪駆動車とする。また最低重量については計測しない。
6. 参加車両名には必ず大学名と車種名を入れること。

第2項 車両安全規定

車両の改造に関しては、当該年度の JAF 国内競技車両規則の第3編スピード車両規定に従うものとするが、特に安全のため以下のことを守ること。

1. すべての車両は前後にけん引装置を備えること。新たに取り付ける場合は当該年度の JAF 国内競技車両規則の第3編スピード車両規定に従うこと。またその位置がわかるよう、けん引装置と同じ色の矢印でその場所を示すことを推奨する。
2. スピード SC 車両は市販されているサーキットブレーカー（主電源回路開閉装置、いわゆるキルスイッチ）を装着すること。取り付けに関しては、当該年度の JAF 国内競技車両規則の第3編スピード車両規定のスピード

SC 車両規定にしたがうこと。

3. すべての車両は JAF 国内競技車両規則のシートベルトに関する規定に適合した 4 点式以上のシートベルトを装着すること。なお、肩ベルト後部が Y 字型となり 1 つにまとまっているものの使用は禁止する。
4. 各ライト部位をビニールテープで米印に飛散防止をすること。その際、テープの末端が必ずボディの一部に掛かっていること。
5. オイルフィルターキャップ、ラジエターキャップ、パワステフルード、ブレーキフルード、クラッチフルードの蓋、バッテリー端子にそれぞれテーピングを行うこと。
6. 競技走行中飛散の恐れのある車室内のアクセサリは取り外すこと。

第 3 項 スピード SC 車両の排気系統について
触媒装置の装着を義務とする。

第 4 項 団体の部参加車両の永久ゼッケンについて

ゼッケンおよび大学名を以下の規定に従って表記しなければならない。

ただし、B 車両で参加する場合は以下の規定は強制ではない。

1. 永久ゼッケンは、車体両側、ボンネット上面、後部ナンバープレート装着位置の 4 ヶ所とし、大学名は競技車両の両側面の 2 ヶ所とする。
2. 永久ゼッケンの形状および大きさについては、明瞭に識別できるものであること。一文字の大きさは、ボンネット上面および車体側面は縦 20 cm 横 13 cm 程度以上。後部ナンバープレート装着位置は縦 10 cm 横 7 cm 程度以上のものが望ましい。字体は少なくとも一般的に判読可能なものでなければならない。なお、後部ナンバープレート装着位置に装着するプレートの材質は、転倒した際にも容易に破損しない程度の強度を持つものが望ましい。
3. 色については、表記する車体部分の色に対し容易に識別可能な色でなければならない。
4. ゼッケンおよび大学名は競技走行中に脱落または剥がれ落ちるようなことがないようにすること

第 5 項 競技番号・指定ステッカーについて

1. 競技番号（ステッカー）はオーガナイザーが指定し、競技会当日受付時に支給する。
2. 競技番号は車両検査までに左右前部ドアに、はがれないよう確実に張付しなければならない。

3. 大会スポンサーがある場合、オーガナイザーはスポンサーステッカーを交付する。そのステッカーは車両の指定された部位に車両検査までに参加者の責任のもとで張付しなければならない。

第8条：受付

すべての本競技会参加者は、当日の朝、参加受付をしなければならない。その際に以下の物を携行すること。

1. 自動車運転免許証
2. JAF 国内競技運転者許可証（団体の部参加者）
3. 学生証（団体の部参加者）
4. スポーツ傷害保険の証書（当日、JMRC 九州共済会への入会希望の者は『JMRC 共済会（特別会員）入会申込書』の上部半分）
5. エントリーフィー（オープンクラス、シニアクラス参加者）

なお、開催日の受付時間に遅刻した参加者は出走を認めない場合がある。その際、参加料は返還しない。

第9条：車両検査

第1項 公式車両検査

1. 参加車両は公式車両検査を受けなければならない。
その際に、ヘルメット、スーツ、グローブ等装備類の点検も行う。
2. 技術委員長は公式車両検査において安全ではない、または不相当であると判断した車両の個所について修正を求めることができる。修正を命じられた車両は修正のあと再度車両検査を受けなければならない。
3. 車両検査を受けていない場合、及び結果が不相当と判断された場合は出走できない。
4. 参加者は、技術委員長の求めがあれば各自の参加車両が車両規定に適合している旨を車両の諸元表カタログなどを提示し、証明しなければならない。
5. 公式車両検査から正式結果発表までを車両保管とし、パドック外への車両持ち出しは厳禁とする。
6. 技術委員長は、必要に応じ随時競技車両の検査をすることがある。
7. 公式車検の際、本大会に不的確と判断された車両は出走を認めない。その際、参加料は返却しない。

第2項 作業届け

公式車両検査終了後の参加車両はタイヤ交換、プラグ交換、V ベルト交換などの軽微な作業を除き、変更交換作業を行う場合は、事前に技術委員長へ

届け出及び承認を必要とする。ただし、事前に申請されていないタイヤを装着する際は、その旨申請を必要とする。

第3項 再車検

競技終了後、上位入賞車両について車両の分解検査などの再車検を行う場合がある。技術委員長が再車検を行う場合は参加者もしくは代理人が責任を持って車両の分解・組み立てを行うものとする。

技術委員長が行う再車検に応じない場合及び検査の結果不合格の場合は失格とし、参加料は返却しない。

第10条：一般安全規定

1. 競技中は運転席側の窓及びサンルーフを全閉すること。
2. 競技中は公式車両検査に合格した適切な装備品を着用すること。
3. 会場内での空吹かし・急発進・ブレーキテスト・暴走行為を厳禁とする。
4. ジャッキアップを行い作業する場合は、エンジンを停止させた状態で、リジットジャッキ（通称ウマ）を必ず併用し、車が左右に傾きのない状態で作業を行うこと。また、車両前部ないし後部をジャッキのみで支持している状態で車両を放置すること、エンジンを始動させることを禁じる。
5. 大会期間中の会場敷地内での喫煙は指定の喫煙所以外は一切認めない。

第11条：競技方法・計時及び罰則・失格規定

1. 原則としてスタートはゼッケン順とし、競技委員の誘導によって1台ずつスタートラインに対し車体を垂直にし、前端をラインに合わせ、スタートの合図を待つものとする。
2. スタート合図はフラッグが下から上に振り上げられた瞬間とする。
3. スタート法はフライングスタートとし、タイム計測は自動計測器により1/100秒まで計測される。
4. ゴールライン通過と同時にチェッカーフラッグが振られ、計測は終了する。
5. スタート合図前にスタートラインを越した場合、走行タイムに5秒加算する。
6. パイロンの接触・移動又は転倒が判断された場合1回につき5秒を加算する。
7. 4輪が同時に脱輪した場合（コースアウト）は当該ヒートを無効とする。
8. 走行中に他の援助を得た場合は当該ヒートを無効とする。
9. ミスコース・コースのショートカットと判断された場合には当該ヒートは無効とする。但し、ミスコース・ショートカットなどに気付き直ちに正しいコースに戻った場合はこの限りではない。
10. スタート合図後10秒以内にスタートしない場合、当該ヒートを無効とする。

11. スタート後3分以内に競技を終了しない場合は当該ヒートが無効とする。
12. 競技中にボンネット等が開いた場合失格とする場合がある。
13. 第1ヒートの出走が著しく危険と判断された車両は第2ヒートの出走を認めない場合がある。この判断に対する抗議は受け付けない。
14. 競技委員の指示に従わない場合は失格とする。
15. 前走車のトラブル等でコースが危険な状況に置かれた場合等に、走行中に赤旗を掲示することがある。この場合、すみやかに停止した後、競技委員の指示に従うこと。なお、赤旗の原因が自身の場合をのぞいて、原則として再出走を認める。
16. 不正行為をした場合は失格とする。
17. コースアウトなどで他人及び施設に重大な損害を与えた場合は失格とする。
18. 公式車検を受けたあとから車両保管が解除になるまでの間に技術委員長の許可を得ずに競技車両の持ち出し・変更・改造を行った場合は失格とする。
19. 競技長の許可無く競技車両を積車両に乗せることを禁止する。

第12条：信号旗の意味

競技中、競技委員は以下の信号旗を掲示することがある。それぞれの意味を以下に記す。

- ・黄旗 ペナルティ（パイロンタッチ、脱輪等）あり
- ・赤旗 危険あり、直ちに停止せよ
- ・黒旗 ミスコース
- ・緑旗 コースクリア

第13条：順位の決定

1. 原則として2ヒートで行い、そのうち良好なタイムを採用する。
2. 団体の部は各選手の良好なタイムを合計したものとする。
3. 同一タイムの場合、以下の順に決定をする。
 - 1 セカンドタイムの良い方
 - 2 排気量の小さいほう
 - 3 ベストタイムを先に記録したほう
 - 4 大会審査委員会の決定による
4. 団体の部に同一大学から複数のチームでエントリーした場合は、最も上位のチームのみ表彰対象とし、それ以外の同大学のチームは表彰せず、他大学の順位を繰り上げる。

第14条：損害の補償

1. 参加者及び競技運転者は、参加車両及び付属品などの損傷・盗難・紛失などの損害、及び会場の施設器物を破損させた場合の補償等、理由の如何に関わらず各自が責任を持って負わなければならない。

2. 参加者・競技運転者・サービス員・ゲストは JAF 及びオーガナイザーの大会役員・競技役員が一切の損害補償の責任を免除されていることを了承しなければならない。即ち、大会役員・競技役員がその役務に最善を尽くすことはもちろんであるが、その役務遂行に起因するものであっても、参加者・競技運転者・サービス員・ゲスト・観客・大会役員の死亡・負傷・車両の損害に対して一切の損害補償責任を負わないものとする。

第 15 条：抗議及び抗議の時間制限

1. 参加者は本特別規則に規定する以外で不当に処遇されていると判断したときは抗議の時間制限内で抗議する権利を有する。但し審判員の判定・使用コース・計時に関する抗議は認めない。抗議を行うときは必ず文書により理由を明記し、抗議料 20,900 円を添えて競技長に提出すること。
2. 参加車両に関する抗議は、抗議対象とする個所を明確に文書に記載しなければならない。抗議によって必要とされる車両分解費用などは、抗議が否決された場合は抗議提出者、成立した場合は抗議対象者が支払わなければならない。
3. 抗議の裁定は大会審査委員会が行い、裁定結果は口頭により抗議提出者のみに伝えられる。裁定結果に基づき、抗議料は抗議が認められた場合及び審査委員会が返還を決定した場合のみ返還される。
4. 技術委員長の決定に関する抗議は、決定直後に提出されなければならない。
5. 成績に関する抗議は、そのクラスの暫定結果発表後 15 分以内に提出されなければならない。
6. 協議中の過失又は反則に関する抗議は、参加者がゴール後 15 分以内に提出されなければならない。

第 16 条：競技会の延期・中止・短縮

1. 保安上又は不可抗力のため競技会の実施あるいは続行が困難になった場合、大会審査委員会の決定により、競技会の延期・中止及びコースの短縮・競技回数の変更を行うことができる。
2. 競技中止の場合、参加料は全額返還される。延期の場合の参加料は当該競技会が延期される開催日までオーガナイザーが保管する。但し、参加者が延期された競技会に参加しない場合、参加料は返還される。
3. 短縮の場合はクラスごとに順位の判定ができる限り、当該クラスの競技が成立したものとす。